

科目ナンバリング		U-LAS05 10009 LJ23									
授業科目名 <英訳>		地域地理学 Regional Geography				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 小島 泰雄			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	地域・文化(基礎)			使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月2		配当学年	全回生	対象学生	全学向		
[授業の概要・目的]											
地域への地理学的アプローチ。 人びとの暮らしを支える地域を、地理学はどのように捉えてきたのか、そして地誌をいかに書いてきたのかについて考えてゆく。											
[到達目標]											
地域地理学の実際の研究過程、地理教育、地域論、地誌の伝統、さらに学史を考えることで、地域地理学の基本的な事項を理解する。											
[授業計画と内容]											
以下のような課題について、1課題あたり1～2週の授業をする予定である。授業回数は15回、最終回はフィードバック。 (1) 地域地理学と地理学：地域とは何か？ (2) 地域を考える：地域を共感的に理解するとは？ (3) 地域を調べる：なぜフィールドにでかけるのか？ (4) 地域を伝える：ステレオタイプ化を避けるためには？ (5) 等質地域：地域はどのように把握されてきたのか？ (6) 機能地域：もう一つの地域の捉え方とは？ (7) 風土記：なぜ地誌は書かれたのか？ (8) 方志：中国で書き継がれてきた地域とは？ (9) 近代と中国地誌：近代に中国をいかに書いてきたのか？ (10) 近代地理学と地域：科学としての地理学の形成の過程とは？ (11) 英語圏における展開：地域地理学の革新とは？ (12) 新しい地域地理学：地域そのものが問題？ (13) 地図と京都：地図の大切さとは？											
[履修要件]											
特になし											
[成績評価の方法・観点]											
主に期末試験による（8割）が、授業への参加度を加味する（2割）。 授業への参加度は課題レポートの提出によって測る。											
[教科書]											
使用しない											
地域地理学(2)へ続く ↓ ↓ ↓											

地域地理学(2)

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

授業ごとに提示される課題レポートに取り組むことで、授業内容の理解を深め、さらに自らの興味関心に応じて発展させることが可能となる。なお課題レポートは3回の提出を標準とする。

[その他(オフィスアワー等)]

履修希望者が教室の収容可能人数を超えた場合には、履修制限を行うことになります。とくに履修を希望する学生には「教員推薦」を行う予定です。

[主要授業科目(学部・学科名)]